



平成26年3月11日

国土交通省中部地方整備局

港湾空港部

お知らせ

南海トラフ巨大地震・津波に対応した『GPS 波浪計津波観測情報配信システム』運用開始！
～いち早い津波観測情報を迅速な避難行動・防災活動へ活用～

1. 概要：

この度、中部地方整備局管内に設置した3基のGPS波浪計（静岡御前崎沖、伊勢湾口沖、三重尾鷲沖）で観測した津波情報^{*1}をいち早く、直轄事務所、港湾管理者や関係自治体へ配信する「GPS波浪計津波観測情報配信システム^{*2}」を構築し、平成26年3月17日より、試行的に運用開始いたします。

これにより、港湾及び沿岸域における直轄事務所、港湾管理者や関係自治体の迅速な避難行動・防災活動への活用が期待されます。

中部地方整備局では、今後引き続き、対象者の拡大、システムの改良に向けた検討を進めてまいります。

*1：津波情報

- ① 観測情報（「観測地点」・「観測時間」・「観測高さ（実測値）」）
- ② 観測情報の補足（沖合で観測した津波は、一般的に水深の浅い沿岸部での高さが3～5倍以上となる恐れがある）
- ③ 詳細な観測情報公開サイト（リアルタイムナウファス【PC版、携帯版】、気象庁HP）へのリンク先

*2：気象庁が静岡県・愛知県・三重県の何れかの沿岸に津波警報又は津波注意報を発表した後、沖合に設置したGPS波浪計で±30cm以上の潮位偏差^{*3}を観測した場合に、津波情報をメール配信するシステム。

*3：潮位偏差＝実際の潮位と推算潮位（天体の動きから算出した天文潮を予測した潮位）との差。
なお、+は押し波、-は引き波を示す。

2. 配布先： 中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、三重県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

3. 問合せ先：

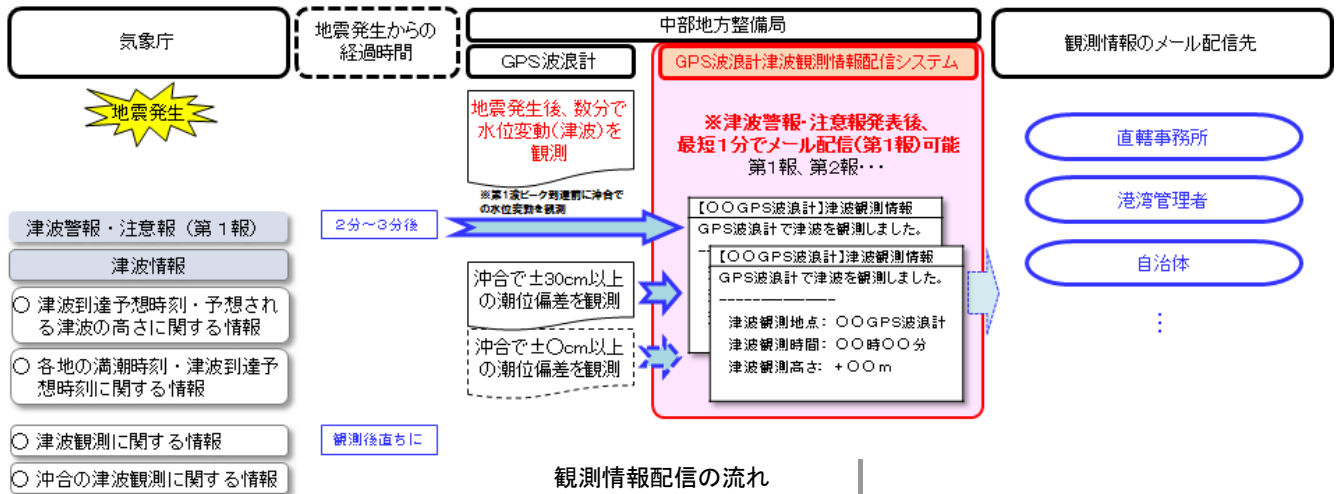
国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 恩田・渡邊

Tel 052-209-6329

Fax 052-209-6308

1. GPS波浪計津波観測情報配信システムの概要と活用イメージ

- 気象庁が管内沿岸に津波警報又は津波注意報を公表後、GPS波浪計で±30cm以上の潮位偏差を観測した場合に、津波観測情報をメール配信。



【〇〇GPS波浪計】津波観測情報

気象庁より津波警報・注意報が発表されました。
〇〇GPS波浪計でしきい値±30cm以上の津波を観測しました。

津波観測地点：〇〇GPS波浪計
津波観測時間：〇〇時〇〇分
津波観測高さ：+〇.〇m

※沖合いのGPS波浪計で観測した津波は、一般的に水深の深い沿岸部での高さが3倍～5倍以上となる恐れがあります。

詳しい観測情報
リアルタイムナウファス(下記URL)
・PC版
⇒<http://www.mlit.go.jp/kowan/nowphas/>
・携帯版
⇒<http://nowphas.mlit.go.jp/>

気象庁サイト
気象庁 防災気象情報 津波情報(下記URL)
⇒<http://www.jma.go.jp/jp/tsunami/>

※このメールには返信できません

メール配信

【沖合津波観測情報に基づく、施設管理・防災活動】(例)

- ・リアルタイム・ナウファスでの潮位変動確認
- ・観測したら定例文を放送
- ・観測後〇〇分以内に保安員退避
- ・早ければ、観測後〇〇分以内に沿岸に到達

“沖合で津波が観測されました！”

- ・避難行動の促進
- ・現地保安員の待避、安全確保

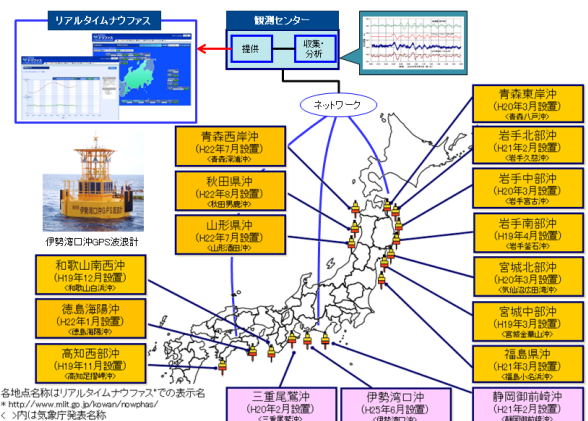
防災活動への活用イメージ

2. GPS波浪計の概要

- GPS波浪計は、GPS衛星を用いて沖合に浮かべたブイの上下変動を計測し、波浪や潮汐等の海面変動をリアルタイムで観測するもので、港湾整備に必要な波浪情報を取得することができます。
- 観測データは、国土交通省 港湾局のウェブサイト「リアルタイムナウファス」で公開しています。
 - ・PC版→<http://www.mlit.go.jp/kowan/nowphas/>
 - ・携帯版→<http://nowphas.mlit.go.jp/>
- GPS波浪計は、地震発生時には津波の観測も可能であり、東日本大震災(2011.3.11)においては、東北地方太平洋沿岸のGPS波浪計が津波をいち早く捉え、気象庁による津波警報の更新に活用された実績があります。

【凡例】

- 📍 : GPS波浪計
- ※H26.3現在: 16基
- 📧 : 今回の配信対象となるGPS波浪計



全国のGPS波浪計設置状況とネットワーク図